

# 九中図書館だより

文京区立第九中学校図書館

令和5年2月 第10号

学校図書館支援員 蛭田・石川



2月になり、暦の上ではもう春です。

2月4日は立春です。二十四節気の最初の節気で、この日から暦の上では春となり、さまざまな決まりごとや節目の基準になっています。

旧暦では、立春近くに正月がめぐってきたので、立春は春の始まりであり、1年の始まりでもありました。

まだまだ寒さは厳しいですが、立春を過ぎてから初めて吹く強い南風を、「春一番」といいます。

実際にはまだ寒い日が続きます。そんな日は、図書館でゆっくり読書をしませんか？



## 九中図書館 利用案内

開館日 月曜日 ~ 金曜日  
開館時間 昼休み 13:00~13:20  
放課後 学活終了後~16:30  
貸出冊数 2冊まで 貸出期間 2週間まで

支援員在室曜日は

月・火・木・金

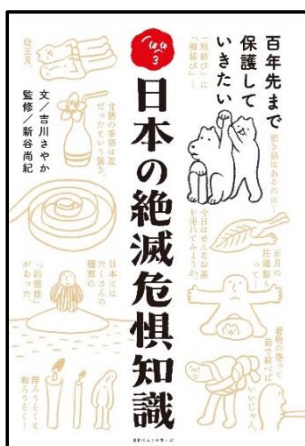
在室時間は

11:30~16:30

※行事や授業によって

変更になることがあります

## 図書館からのオススメ本



『日本の絶滅危惧知識百年先まで保護していきたい』

吉川さやか 文／新谷尚奇監修

ベストセラーズ【3823】

招き猫はあるのに、招き犬がないのはなぜ？縁起の良い箸の選び方ってあるの？日本には「一年分の嘘が帳消しになる日」があるらしい！？

日本のしきたりって、知っているようで知らないことばかり。昔の人には身近だった風習が、ゆるっと解説されています。

※学校図書館支援員の蛭田は、体調不良のためお休みすることになりました。2月7日より蛭田に代わって、第九中図書室を支援します学校図書館支援員の石川武子です。よろしくお願いします。



# バレンタインデー

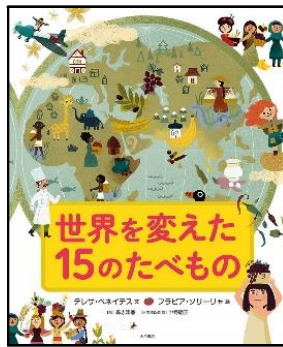
日本で「バレンタインデー」と言えば、女性から男性への愛の告白としてチョコレートを贈ったり、「友チョコ」や「義理チョコ」として友達同士やお世話になっている人へチョコレートを贈ったり、何だか「チョコレートを贈り合う日」という認識が出来上がっています。

という訳で、今月はチョコレートや甘い言葉関係の本を集めて、図書館前に展示してみました。どうぞ気になる本があったら、手に取ってみてください。



『チョコレート語辞典』  
Dolcerica 香川理馨子著  
誠文堂新光社【58カ】

誰もが大好きなチョコレートのあれこれを、おいしそうなイラストつきでつづります。



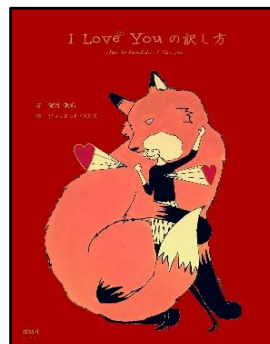
『世界を変えた15のたべもの』大月書店【38ペ】  
テレサ・ベネイテス著

カカオやトマトやバナナはどこからやってきたのか？絵と図解で見るスペインの絵本です。



『信じてみたい 幸せを招く世界のしるし』米澤敬著  
創元社【387ヨ】

本が落ちる、ワインがこぼれる、木曜日のくしゃみ…気付くと嬉しいあれこれです。



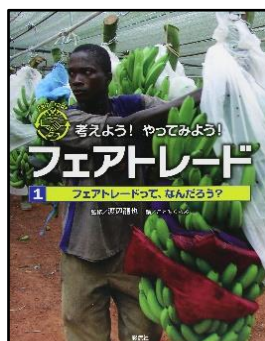
『I Love Youの訳し方』望月竜馬著  
雷鳥社【90モ】

100人の文豪たちの100通りの愛の言葉がつまっています。あなたはどれが好き？



『わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。』岩附由香著  
合同出版【36ワ】

児童労働の現状や、様々な取り組みが紹介されています。



『考えよう！ やってみよう！ フェアトレード』彩流社  
こどもくらぶ編【67カ】

フェアトレードの意味、しくみ、なぜ必要なのかがわかりやすく説明されています。